

# 利き手のみ片側または両側同時手術を行った 手掌多汗症患者の術後満足度調査

小田 斉 楠本正博 沖野秀宣

おだクリニック日帰り手術外科

## はじめに

手掌多汗症に対する胸腔鏡下胸部交感神経遮断術（以下 ETS）は術後に後悔するほどの過剰な代償性発汗が出現することがあり<sup>1),2)</sup>、その対策として以前から片側ずつ慎重に手術を行う方法があった<sup>3)</sup>。当院では小児患者には利き手の片側 ETS を行い<sup>4)</sup>、成人患者には両側同時 ETS を施行することが多かったが<sup>5)</sup>、両側同時 ETS 後に過剰な代償性発汗で手術を後悔する患者を経験することもあり、片側のみの手術について再評価の必要性を感じた。そこで利き手だけの片側 ETS と両側同時 ETS を行った手掌多汗症患者の手汗の減汗効果、代償性発汗の程度、患者満足度を調査した。

## 対象および方法

対象は 2016 年に当院で利き手のみ片側の ETS を施行した片側群 140 例と両側同時に ETS を施行した両側同時群 288 例の手掌多汗症患者で、術後 3 年を経過した 2019 年 7 月に無記名の封筒アンケート調査を行った。片側群 92 例 (66%)、両側同時群 111 例 (39%) から回答を得た。

## 結 果

手汗に対する ETS の効果は両群間に差はなく、全体として手汗停止またはほぼ停止が 92~3%、少し発汗するが 5%で、調査期間の 3 年間に 2~4%が再発した (図 1)。片側群 33 例 (36%) で反対側の手汗もほぼ停止または軽減した。片側群の代償性発汗は半数以上がなしと回答し、下着が濡れるほどの中程度の代償性発汗はわずか 2%であった。両側同時群では 4 分の 3 以上に代償性発汗が出現し、中程度が 34%、ブラウスやズボン、スカー

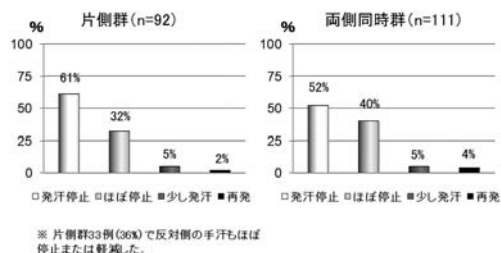


図 1 手汗に対する ETS の効果

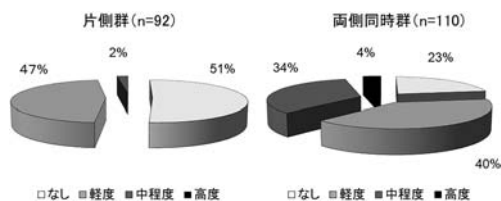


図 2 代償性発汗の程度

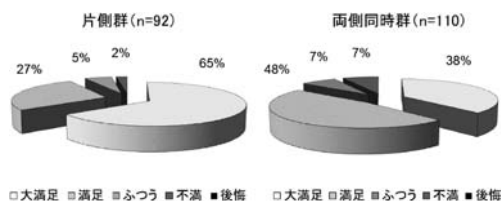


図 3 術後の患者満足度

トが濡れるほどの過剰な代償性発汗が 4%と、片側群に比べ中程度以上の割合が増加した (図 2)。

術後の患者満足度は、片側群では大満足 65%、満足 27%、ふつう 5%、不満 2%で、不満理由はいずれも再発だった。両側同時群では大満足 38%、満足 48%、ふつう 7%、不満 7%で、不満理由は半数が再発、半数が代償性発汗であった。今回の調査では手術を後悔したとの回答はなく、両群とも満足以上の回答が 9 割を占めたが、大満足と答えた割合は片側群が両側群の 2 倍近くであった (図 3)。

片側のみ手術を行った患者のうち、26 例

表1 二次的手術後の代償性発汗の変化

初回手術後の代償性発汗	二次的手術後の代償性発汗
なし 14/47	なし 9 (64%) 軽度 4 (29%) 中程度 1 (7%)
軽度 12/43	軽度 8 (67%) 中程度 4 (33%)
中程度 0/2	二次的手術希望せず

(28%) は暑い夏季を経験した後、初回手術4~25か月後に反対側手術を行った。今回のアンケート調査の結果、15例(16%)は近いうちに反対側の手術を希望した。しかし半数以上の51例(55%)の患者は反対側の手術を希望しなかった。反対側の手術を希望しない理由の大半は「字を書くときに紙が濡れない」、「躊躇なく手がつなげる」など、満足する程度にQOLが向上しており、さらに33例(36%)の患者では反対側の手汗も減少していた。しかし片側ETS後の代償性発汗が予想以上であったため、これ以上の手術は希望しないと答えた患者も2例(2%)あった。

## 考 察

片側群の患者のうち、二次的手術後の代償性発汗の変化を表1に示す。3分の2の患者は二次的手術後も代償性発汗の程度に変化はなく、3分の1の患者では初回手術後に比べて代償性発汗は増加したものの、手術を後悔するほどの過剰な増加ではなかった。初回手術後に下着が濡れるほどの中程度の代償性発汗を認めた患者2例は二次的手術を希望しなかったが、仮にこれらの患者が初回手術で両側同時手術を受けていれば、より過剰な代償性発汗で手術を後悔した可能性があったと思われる。利き手の片側ETS後の3割以上の患者では反対側の手汗も軽減しており、利き手がサラサラになると、精神的に落ち着き、反対側の手の精神性発汗にも好循環に連鎖したものと推察している。当院では今回のアンケート調査結果を踏まえて、手掌多汗症に対する現在の当院の治療方針は、アドヒアランスを重視して手術を希望した場合には、両側

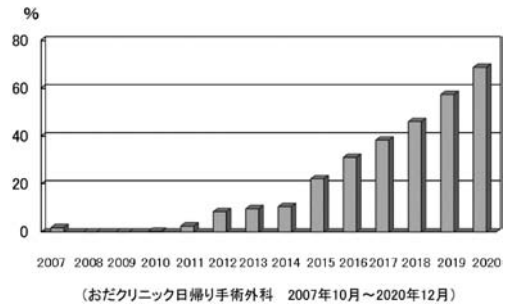


図4 当院で初回手術時に片側手術を選択した患者の割合

同時または利き手の片側のみ手術を行うかは患者の選択としている。初回時に片側ETSを選択する患者は年々増加し、現在は約7割が片側ETSになっている(図4)。

## 結 語

片側ETSは後悔するほどの過剰な代償性発汗を伴うことがなく、利き手だけの減汗効果でも患者が満足する程度にQOLは改善しており、手掌多汗症治療の選択肢の一つになると思われた。

## 文 献

- 1) de Campos JR, Wolosker N, Takeda FR et al : The body mass index and level of resection predictive factors for compensatory sweating after sympathectomy. Clin Auton Res, 15 (2), 116-120, 2005
- 2) Shelley WB, Florence R : Compensatory hyperhidrosis after sympathectomy. N Engl J Med, 263, 1056-1058, 1960
- 3) Ravari H, Rajabnejad A : Unilateral Sympathectomy for Primary Palmar Hyperhidrosi. Thorac Cardiovasc Surg, 63, 723-726, 2015
- 4) 小田 齊 : 手掌多汗症に対する学童期の胸腔鏡下交感神経遮断術. 発汗学, 23(2), 47-49, 2016
- 5) 小田 齊 : 手掌多汗症に対する胸腔鏡下交感神経遮断術による日帰り手術の現況と術後アンケート調査結果. 発汗学, 21, 70-72, 2014